

信頼される学校であるための行動計画（令和４年度）

三重県立特別支援学校玉城わかば学園

玉城わかば学園では、不祥事根絶とよりよい職場づくりを推進していくため、別紙の「三重県立特別支援学校玉城わかば学園教職員倫理規定」を定め、その遵守に向けて「信頼される学校であるための行動計画」を策定しています。

特別支援学校に勤務する教職員として、児童生徒の障がい特性に応じた誠実な支援により、児童生徒及び保護者からの信頼に応えられるよう、人権を重んじた真摯な態度で教育活動に臨みます。

1 教職員の行動目標

(1) 管理職

- ① コンプライアンスに関する啓発・意識強化に向けて常に情報を発信し、取り組みを推進する。
- ② 体罰や虐待など不適切指導の根絶に向け、人権を尊重し、特別支援教育の専門性に基づいた指導体制の徹底を図る。
- ③ 問題発生や課題発見時には組織として素早い対応ができるよう、体制を強化する。
- ④ 組織的で働きやすい職場、相談しやすい環境づくりに努める。
- ⑤ 地域や保護者と連携しやすい基盤を作り、対話や情報発信を積極的に進める。

(2) 教職員

- ① 教職員であるという自覚の下、コンプライアンスを遵守し、責任ある行動をとる。
- ② 人権感覚並びに特別支援教育の専門性向上に努めるとともに、教職員間で常に児童生徒の現状・課題を共有し、協力して指導・支援にあたる。
- ③ 職種や学部の枠を超え、互いに相談やアドバイスをしあえる関係を作る。
- ④ 保護者や関係機関との連絡を密にし、信頼関係を構築する。

2 目標達成のための取組

(1) 管理職の取組

- ① コンプライアンスに関する話題や情報、メッセージを毎月の職員会議やその他機会がある毎に発信することにより、常に注意喚起を促すと共に、自分事として捉え、行動を振り返るような場面を定期的に設ける。
- ② 特別支援教育や人権教育等、多角的な側面からの研修を年３回以上実施すると共に、授業観察、校内巡視等を通じて適切なアドバイスを行い、教職員の専門性の向上をはかる。
- ③ 風通しがよく支え合えるよりよい組織を目指し、体制を評価し改編していくと共に、面談だけではなく、形式にとらわれず教職員間で話ができる機会を提供する。
- ④ ホームページや授業公開等を通じて情報発信を行い、保護者や地域の声が聞き取れるような取り組みを実施する。

(2) 教職員の取組

- ① チェックリストや、人権デーを中心に「ジェントルティーチング」の視点から毎月

1回自身の指導や支援の方法について振り返り、互いに気付いた事を共有することにより皆でコンプライアンスの意識を高める。

- ② 児童生徒に対してよりよい教育や支援を提供することを目指して、主体的に校内研修や自主研修に励み専門性を高める。
- ③ 担任・担当同士に留まらず、学年、学部で児童生徒の話題について話し合い、課題や悩みを共有し、共に考え、組織的に行動する。
- ④ 学年代表を通じた学部主事、管理職への迅速な報告と児童生徒や保護者への細やかな対応を心掛けると共に、関係機関との情報共有を密にし、支援体制を確立する。

(3) 全教職員の取組

- ① 「三重県立特別支援学校玉城わかば学園教職員倫理規定」を毎月初めに確認し、常に意識して行動する。
- ② 「信頼される学校であるための行動計画(チェックリスト)」による確認を毎月1回実施し、自身の行動を振り返るとともに、新たに意識を高くして教育活動を行う。